

現代生活学科の授業紹介！（その11） ～「現代社会を読み解くd（科学技術と社会）」～

現代生活学科1年生の専門科目（現代生活学科のみに設置されている科目のことです）の中に、「現代社会を読み解く」という科目が4種類設置されています。

「現代社会を読み解くa」では「政治と経済」、「現代社会を読み解くb」では「生活と産業」（現代生活学科News!の第6号をご覧ください）、「現代社会を読み解くc」では「文化と市場」、そして「現代社会を読み解くd」では「科学技術と社会」を取り扱います。

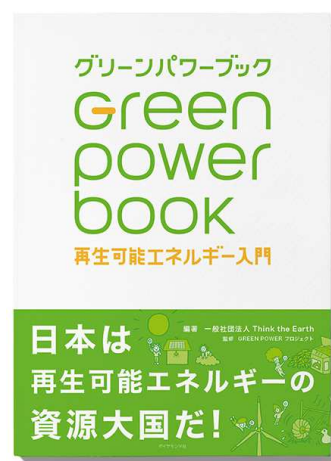
この「現代社会を読み解くd（科学技術と社会）」では、今年度は、我々の毎日の生活に欠かすことのできない電気と燃料のもととなる各資源の特徴や利用方法について学びました。詳細の内容は以下の通りです。

世界と日本の一次エネルギー資源・資源別発電量、地球温暖化と温室効果ガス、石炭と製鉄、石油製品とバイオ燃料、天然ガス・バイオガス、原子力発電の仕組みと事故、太陽光発電、風力発電、地熱発電、各種水力発電（大型、揚水式、中小型）、バイオマスとそのエネルギー利用

この「現代社会を読み解くd（科学技術と社会）」では、先日、「グリーンパワーブック」という本を使用して、再生可能エネルギーの重要性について学びました。実は、この本は小学生から高校生に向けて執筆された本ですが、担当教員がESD（Education for Sustainable Development；持続可能な開発のための教育）に関する展示に行った際に見つけました。

この本をよく読むと、地域によっては見かけることのない再生可能エネルギー（太陽光、風力、地熱、中小水力、バイオマス発電）の発電設備の写真が多く掲載されており、説明も専門的！一方、各エネルギーのキャラクターなどイラストも多く載っていて、確かに小学生でもページを開きやすいようです。

一般の方々には、エネルギーの専門書となると、「数式や専門用語が多くて理系の学生にしか読めない」などの感想をお持ちのことと思います。しかし、この本はそのようなハードルを取り払ってくれます。実は、再生可能エネルギーは、今後のわが国には絶対必要なもの。それも地域レベルで分散して発展していく必要があります。（この辺りの状況は2年次以上設置の「地域エネルギー論」という科目で解説しますね。）



【担当教員紹介】 菅野 元行（すがの もとゆき）

実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 准教授 博士（工学） 12月に東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ展」に学生諸君を引率しました。入場して最初のブースのクイズでは授業内容が役に立ち、みごとに全員、エコせっけんをいただきました。その他は、裏面記載のホームページをご覧ください。

現代生活学科1年生YMさん作画



経済産業省資源エネルギー庁を中心に、官民連携で再生可能エネルギーの普及促進を行うGREEN POWERプロジェクトがスタートしました。この公式ブックとして一般社団法人Think the Earthにより編集制作された本が「グリーンパワーブック」です。

「グリーンパワーブック」を使用する授業日に、この本の編集・広報を担当されている一般社団法人 Think the Earthの笹尾実和子さんが来校されました。そこで、

笹尾さんに、環境に関わるメディア・広報についてのご経験などをお話いただきました。



「グリーンパワーブック」を読んでみて 現代生活学科1年生の感想

現代生活学科の1年生が感想を記録しました。その一部を紹介します。

この本を読んで、今後以上に環境について興味が高まりました。
 笹尾さんの話とともに関心が高まりました。(広告・広報に
 興味があるので)



Green Power bookは絵の中にも要点が記載されてい
 ていて、イラストなどの資料掲載や分かりやす
 い文章と量で、非常に読みやすかったです。
 中、高校の頃にもこういう参考書があれば良か
 ったなと思います。(梨)

最後まで、あきらめずにスラスラ読めた。Green Power
 Paperの中にある、「世界のグッドアイデア」の所は、興味深
 かった。世界各地で開発された発電方法をひとつひとつ
 紹介してほめていけたら、良いなと思った。エネルギーなどの語



このページに掲載した再生可能エネルギーの各キャラクターは、グリーンパワースクールのホームページから転載しました。

があたのどすが、この本を読んで、見て、こんなにモ
 っと進んで知りたいたい!と思わせてくれる本は初めて
 でした! 本当にありがとうございました。

再生可能エネルギーを使う方法は多くありますが、生活の中で、何か少し取り入れられたら
 良いと思いました。グリーンパワーブックを読んで、
 日本でも様々な発電方法が行われていることを知りました。



現代生活学科は、「環境」を理解し、「メディア」の技術と考え方を身につけ、「自立」した社会と暮らしづくりを構想し、実践するための教育を展開します。私たちとともに、女性ならではの視点で、新たな社会づくりを考えていきませんか？

実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 News! 2014年度 第24号
 編集・発行 実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 2015年1月1日発行
 〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1 Tel. 042-585-8918 Fax. 042-585-8919
 実践女子大学 <http://www.jissen.ac.jp/> 現代生活学科 <http://www.greenphronesis.org/>